



いきいき 学びのプラン

【生涯学習計画】市民だより／68号
(令和元年12月1日発行)
《発行》岸和田市・
岸和田市教育委員会
《編集》岸和田市教育委員会
生涯学習部 生涯学習課
〒596-0072
岸和田市堺町1-1
(市立公民館・中央地区公民館内)
電話：072-423-9615～6
FAX：072-423-3011
メール：
syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

ひとが咲く。

府内トップクラスの農業産出額をほこる岸和田市。今回の「ひとが咲く。」は、岸和田市の未来の農業を支える若手農家で組織される岸和田4Hクラブと、農業に熱い情熱を注ぐクラブ会長の金沢桂輔さんにお話を伺いました。

岸和田4Hクラブ

若手の農家10名が所属。メンバー間で農業に関する様々な情報交換をするほか、岸和田生まれで衝撃の甘さが話題となっているにんじん『彩誉』を共同で育てています。

また、学生や企業・福祉施設の方に向けた彩誉の収穫体験や、農業まつりでのブース出店など、農業の発信に加えて岸和田のシティーセールス活動にも積極的に取り組んでいます。

今年5月には、その活躍が認められ、農林水産関係の団体として大阪府「令和元年度憲法記念日知事表彰」を受賞しました。

《4Hクラブ》

日本全国に約850のクラブがあり、20～30代の若い農業者約1万3千人が所属しています。農業経営をしていくうえでの身近な課題の解決方法や、より良い技術を検討するプロジェクト活動を中心に、消費者や他クラブとの交流、地域ボランティア活動を行っています。

4Hとは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hands）を磨き、科学的に物考えることのできる頭（Head）の訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）を増進するという、4つの信条の頭文字を総称したものです。

かなざわ けいすけ
金沢 桂輔さん

岸和田4Hクラブ会長
好きな野菜はにんじん
苦手な野菜はセロリ

農業をはじめた

きっかけ

岸和田4Hクラブに所属するほとんどが農家出身ではなく新規就農者です。私自身も、以前は民間企業で勤めていましたが、退職を機に農業生産法人で会社員として農業の一步を踏み出しました。仕事の傍ら、府内の農業大学に通ううちに独立を考えるようになり、和泉市の農家へ弟子入りを。勉強をさせてもらいながら土地を探し、約3年前に現在の場所で本格的に独立しました。

岸和田市には、水ナスと軟弱野菜の出荷部会があり、いつでもどんな量でも買い取ってくれる営農センターがあります。ほかにも、高価な水ナスの選別機械があったり、愛彩ランドをはじめ出荷先も多いので、本当に恵まれているなと思いますね。

4Hクラブに

所属して

同じ悩みを持っているメンバーや、それを乗り越えてきたメンバーが所属していることで、情報を共有し合えて、教えてもらえることがたくさんあります。

例えば、高価な機械や肥料は買えなくても安価な代替品で応用できたり、色々な防虫方法を試した結果など。農家出身ではない自分たちだからこそ、教えてもらう知識は本当に勉強になります。

農業の魅力

終わりがないこと。それが魅力というか、自分にとってのやりがいになっていると思います。同じ人間がいないように、野菜も場所や気候・土の違いなどによって同じものができることはありません。

いいものを作るために時間とお金をかけて、それが実ったとき、それを収穫するとき、それがめちゃくちゃ美味しかったとき。その時々によって様々な楽しみや嬉しさ、そしてやりがいを、日々感じることでできるのが農業の最大の魅力だと思います。

これから

もつと多くの若い人が農業にチャレンジできる環境づくりをしたいと思っています。これから農業をはじめたいと思っ

ていても、身近に前例がないとなかなか挑戦しにくいと思うので。新規就農者の自分とその一例となつて、実情や経験などの情報をたくさん発信していきたいです。

また、泉州における水ナスのように『彩誉』を岸和田の人にとって馴染みのあるものへと育てていくことが、これからの目標であり、楽しみでもありますね。



《道の駅 愛彩ランド》

岸和田4Hクラブのメンバーが育てた野菜のほかにも、市内で生産されたたくさんの野菜や青果が販売されています。また、12月は『彩誉』が旬を迎えています。岸和田生まれのとっても甘くて美味しいにんじん、ぜひ食べてみて下さい！

所在地：岸和田市岸の丘町3-6-60



彩誉の収穫体験（ふくろうの森）